

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)深草柴田屋敷町計画	階数	地上7F
建設地	京都市伏見区深草柴田屋敷町8-1	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	140 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年7月21日
敷地面積	1,775 m <sup>2</sup>	作成者	一般建築士事務所 株式会社東洋設計事務所 森田 剛至
建築面積	822 m <sup>2</sup>	確認日	2017年7月24日
延床面積	4,388 m <sup>2</sup>	確認者	一般建築士事務所 株式会社東洋設計事務所 森田 剛至



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

#### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 室内にはF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し、各住戸に光配線の導入する等快適に過ごせる室内環境を目指した		その他 特になし
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 広い開口部より豊かな採光を確保	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用 光配線の導入	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明設備の設置	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率 = 88%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される